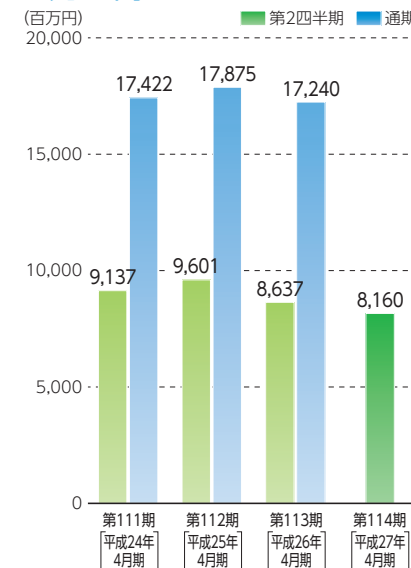
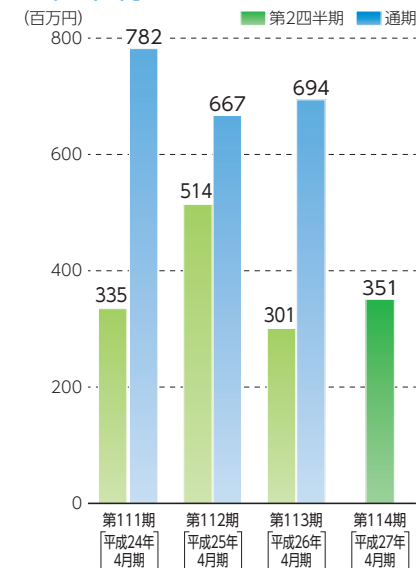


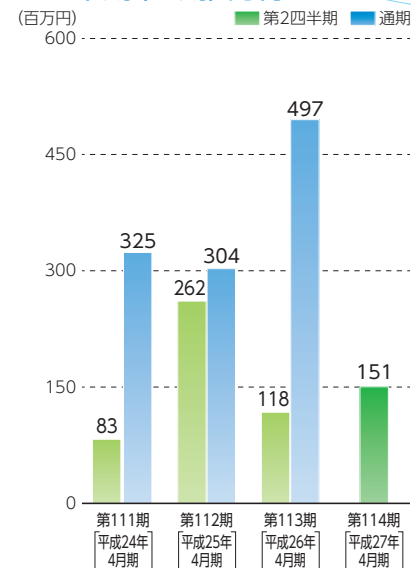
売上高



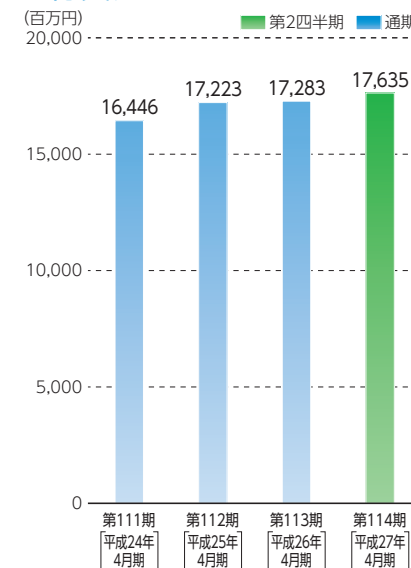
経常利益



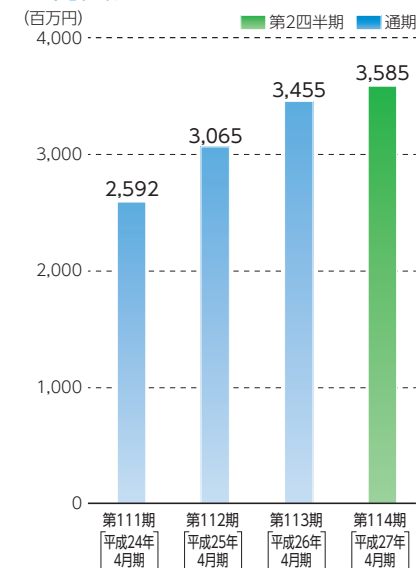
四半期(当期)純利益



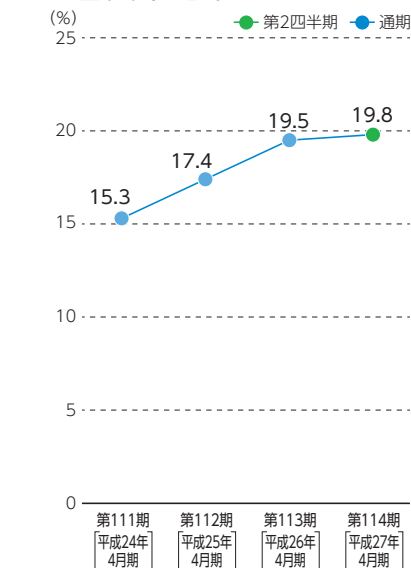
総資産



純資産



自己資本比率



会社概要

(平成26年10月31日現在)

設立 明治43年8月  
 資本金 1,378百万円  
 従業員数 814名(連結)、264名(当社)  
 東京本社 東京都港区新橋二丁目20番15-701号  
 福山本社 広島県福山市一文字町14番14号  
 工場 函館・福山  
 事業所等 札幌・網走・石巻・東京・高岡・福山・九州・紋別・釧路・八戸・いわき・下関

取締役及び監査役

(平成26年10月31日現在)

代表取締役社長	小山 林 宏 明
代表取締役専務	山本 本 節 夫
常務取締役	高 吉 良 臣
取締役	三 島 浩 和
取締役	杉 森 林 重
取締役	小 濱 田 富
取締役	小 立 柴 訓
取締役	立 川 隆 一
取締役	岡 耕 郎

主要グループ会社

(平成26年10月31日現在)

**【国内】**  
 多久製網株式会社  
 株式会社泰東  
 日東ネット株式会社  
 有限会社温泉津定置  
 日本ターニング株式会社  
**【海外】**  
 レデス・ニットー・チリ・リミターダ(チリ)  
 タイ・ニットウセイモウ・グローバル Co.,Ltd.(タイ)

株式の状況

(平成26年10月31日現在)

発行可能株式総数 ..... 64,000,000株  
 発行済株式の総数 ..... 26,050,000株  
 株主数 ..... 4,128名

株主メモ

事業年度 毎年5月1日から翌年4月30日まで  
 定時株主総会 毎年7月下旬  
 基準日 定時株主総会・期末配当：毎年4月30日  
 中間配当：毎年10月31日  
 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日。  
 株主名簿管理人及び特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社  
 【郵便物送付先】 〒168-0063  
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社証券代行部  
 【電話照会先】 ☎0120-782-031(フリーダイヤル)  
 公告方法 電子公告  
 <公告掲載URL>  
<http://www.nittoseimo.co.jp/>  
 但し、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
 上場証券取引所 東京、名古屋

# 第114期 中間報告書

平成26年5月1日から平成26年10月31日まで





# 高品質な製品の提供を通じ、安全・安心な生活環境づくりに貢献していきます。

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

近年、漁業を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。当社グループは、主力の漁業関連事業を強化する一方、陸上関連事業の拡充に注力することで、新たな市場の創出に努めております。

今後とも皆様の変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。  
平成27年1月

代表取締役社長 **小林宏明**

### Q1 当第2四半期の市場環境と業績はいかがでしたか？

当社製品の主力ユーザーである水産業界は、海水温の変化や水産資源の減少による漁獲高の減少に加え、漁業従事者の高齢化が進んで労働力不足に直面しており、依然として厳しい状況です。

このような状況を受け、当第2四半期の連結売上高は前年同期と比べて減少しました。定置網や旋網は好調でしたが、漁船の受注減少や消費税増税に伴う前期末の駆け込み需要の反動で、陸上用ネットが減少したことが主な理由です。利益面においても、旋網などの漁網の粗利益は改善したものの、陸上用ネットの売上高の減少が影響

し、前年同期と比べて営業利益は減少しました。営業外損益では、為替差益が増加し、持分法による投資利益が発生する一方で、期中の借入残高の圧縮により支払利息が減少しています。特別損益は、特に影響の大きいものは発生しませんでした。

この結果、売上高は8,160百万円(前年同期比5.5%減)、営業利益は356百万円(同4.9%減)、経常利益は351百万円(同16.7%増)、四半期純利益は151百万円(同27.5%増)となりました。

### Q2 現在の重点課題について教えてください。

当社グループの主な営業基盤である水産業界が、中長期的に見て厳しい状況にあるという認識には変わりありません。この状況を乗り切るためには、経営体制を一層強化し、機動的な経営判断を行っていく必要があります。そこでこのほど、代表取締役を2名とする新体制にしました。

今後は新体制のもと、従来から取り組んできた物づくり改革をさらに加速し、機械稼働率や労働能率の向上、生産ロスの低減などを通じて競争力の強化に繋がります。さらに海外市場においては、タイ子会社での生産・販売体制の確立を進める一方で、チリ子会社との連携をさらに強化し、生産の効率化を図る方針です。現在当社が進めている経営戦略では海外売上高比率20%を目標としており、両現地法人

を通じた東南アジア・中南米市場の開拓が達成の鍵になると考えています。

### Q3 通期の課題と対応、業績予想をお聞かせください。

漁業関連事業では、東日本地区の特需による定置網の受注が減少することから、他の地区での営業活動を強化することによって落ち込みをカバーします。また、養殖生簀部門では、新規設置の需要が減少すると予想されるため、旋網や船舶部門の営業活動を進め、海外現地法人と連携し、生産効率化にも取り組んでまいります。

陸上関連事業では、前期好調であった施工工事、陸上用ネットなどの需要がやや落ち着く見通しながら、引き続き安定した受注を見込んでいます。

通期業績については、当第2四半期が当初予想をやや上回り推移しましたが、現時点では売上高16,500百万円、営業利益650百万円、経常利益550百万円、当期純利益300百万円と予想を変更しておりません。配当につきましては、平成27年4月期の期末配当金として1株につき3円を予定しています。

当社グループは、今後も業界のリーダーとして新たな時代の先頭に立ち、様々な角度から提案してまいります。株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



売上高は6,847百万円(前年同期比2.4%減)となりました。主な要因は、定置網の売上高は増加しましたが、漁船などの売上高が減少したことによるものです。利益面は、旋網などの漁網の粗利益が改善したことなどにより、セグメント利益は327百万円(同9.5%増)となりました。

#### 事業紹介



漁網

曳網

定置網をはじめ、旋網、曳網、養殖網、海苔網など、漁業に欠かせない製品を数多く提供しています。また、漁場設定や漁場調査、漁場に適した網の設計、仕立といったソフト面のサポートも充実しています。さらには、漁獲された魚の販売や販売先の紹介など、漁労の現場に即した事業展開を心がけています。これからも最新技術を駆使して、お客様のご要望にきめ細かく対応していきます。



各種ロープ

売上高は1,300百万円(前年同期比19.2%減)となりました。主な要因は、消費税の増税に伴う前期末の駆け込み需要の反動によるものです。利益面は、売上高が減少したことにより、セグメント利益は28百万円(同62.6%減)となりました。

#### 事業紹介



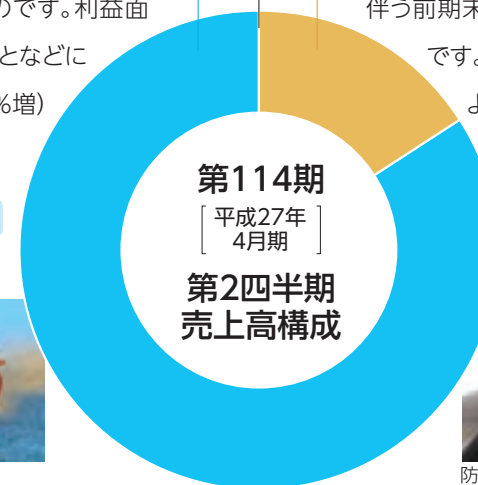
防虫網

獣害防止ネット

ご家庭の網戸や各種スポーツネット、建設現場から農業用途に至るまで、様々なシーンでご利用いただける製品を提供しています。中でも、防虫網は独自に開発した高耐候・高強度のポリオレフィン原糸を使用しています。焼却しても有毒ガスを排出せず、環境に優しい素材です。このほか、防球ネットや獣害防止ネット、土木・建築用ネット、防災ネットなど、活躍の場がますます広がっています。網のトップメーカーとして培った知識と経験をもとに、設計から施工、修理に至るまで一貫して対応することが可能です。



防球ネット



第114期  
〔平成27年4月期〕  
第2四半期  
売上高構成